



／楽しかったね！
こども園で交流会

みんなの議会



表紙の写真説明はP17をご覧ください

第 75 号

2024.11.1

今号の Topics

あなたの声で町が変わる

私たちの税金はどう使われたか

議会報告会
予告動画も

P 3

P 4



No.3 がんばっている人 応援し隊



丸橋舜さん

好きを極める ～音楽で町とつながりたい

丸橋舜さんは、現在東京で音大に通う2年生。クラシックのサクソ奏者を目指し、都内を中心にミニコンサートを開催しています。東吾妻中学校吹奏学部出身で、時々後輩の練習につきあってくれているそうです。丸橋さんにお話を伺いました。

問 音楽を始めたきっかけは？

舜 小学校の時にピアノを習っていましたが、実はスポーツも好きで、中学校ではテニス部に入ろうと思っていたんです。でも、最初の部活動紹介で吹奏楽部の演奏を聞いたら、その時にアニメじゃないんですけど、何だか電撃が走った感覚で、音楽の素晴らしさに目覚め、吹奏楽部に入ろうと思いました。

問 進学校から音大の受験は大変だったのでは？

舜 周りには芸術学部を目指す友人はいなかったもので、音楽の道に進んでも食べていけるのかと言われることも多かったです。幸いにも両親の理解があり、好きな道に進むことを応援してもらえました。本格的な音楽は、サクソを浅野武久先生、雲井雅人先生、ピアノ・声楽・ソルフェージュをmarico（小池まりこ）先生に師事しました。高校の勉強の他に、西洋音楽史を中心として、さまざまな音楽を聴くなどして受験に臨みました。

問 入学した音大の印象はどうでしたか？

舜 受賞歴があるなど、その地域で音楽の勉強しているトップ層の人が集まっているので、それぞれプライドの高い尖った若者（自分も含め・笑）が多いんです。音楽を極めていく人の集まりで、お互いバチバチかなと思ったら、入学してみて、自分が美しいと思っていた音楽と違うものをいいと思っている人もいて、ギャップは感じましたね。お互いうまく刺激し合って成長しているような気がします。

問 今はどんな活動をしているのですか？

舜 大学の芸術祭でクラリネット、サクソの二重奏をやりたいと思っています。曲もバロックと現代の融合で考えています。バロックは昔の宗教音楽や宮殿音楽と関わり深い時代の曲のことです。サクソはその時代にはなかったもので、当時の音楽の良さを残しつつ、現代風のアレンジに挑戦しています。

問 将来の夢や目標を教えてください。

舜 将来的には、東吾妻町のコンベンションホールでリサイタルするのが夢です。好きを極めて、僕の好きな音楽で、故郷東吾妻町とつながっていかれたらうれしいです。

東吾妻町でもミニコンサートを計画中の丸橋さん。芸術を極める道は厳しいとは思いますが、前向きにがんばる姿に力をもらいました。これからの活躍を期待したいですね。

「がんばっている人応援し隊」のコーナーでは、東吾妻町でがんばっている個人や団体を紹介します。このコーナーに登場してくれる個人や団体を募集します。自薦他薦は問いません。お近くの議会広報特別委員または議会事務局までお声がけください。

gikai@town.higashiagatsuma.gunma.jp

Café time

カフェタイムを今年も開催。食生活改善推進協議会提供の野菜をたっぷり使ったヘルシーランチを試食しながら、議員と懇談しませんか。（先着50名様）



今年のメニューは、キャベツのキーマカレー



予告動画 公開中！



現在議会報告会予告編の動画を配信中です。

10月7日発行の町広報で募集したご質問は、議会報告会当日回答するとともに、後日動画で配信も行います。議会からの報告・事前質問の回答動画は、東吾妻町議会のホームページをチェックしてください。



あなたの声で町が変わる

議会報告会を開催します

11月10日(日)

時間：午前10時00分～

場所：コンベンションホール

皆さんのお越しを
お待ちしております！

あなたの
声で

議会だよりが変わる？

「議会だより」が縦書きから横書きに変わりました。読みやすさに変化はありましたか。「もっとこうしてほしい」「こんな企画が読みたい」など議会だよりへご意見・ご感想をお寄せください。

QRコードからアンケートへの
回答にご協力ください。→→→→



いただいたご意見は議会だよりの編集の参考にす
るほか、議会だよりに掲載することがあります。

令和5年度歳入歳出決算

私たちの税金はどう使われたか

令和6年第3回定例会が、9月3日から13日までの11日間、役場庁舎3階の議会議場で開かれました。会期中、町長から提案された令和5年度各会計の決算・条例改正などの議案が審議され、いずれも原案どおり全会一致で認定・可決されました。

町政一般質問には1人が登壇し町政をたしました（18ページをご覧ください）。

決算8件
全会一致で
認定

一般会計決算を認定

歳入歳出差引額は3億7746万円で、翌年へ繰り越す財源が6769万円あるため、実質収支額は3億976万円の黒字でした。

歳入

決算額は前年度と比較して0.2%の減で、1450万円の減額となりました。

内訳は、町税全体で前年度比5.8%の増、個人町民税は昨年とほぼ同額、法人町民税や入湯税は減少しましたが、固定資産税や軽自動車税などが増え、全体的には増額となりました。

地方交付税は前年度比3.8%の減、財産収入が31.7%の増、町債は6.7%の増となりました。

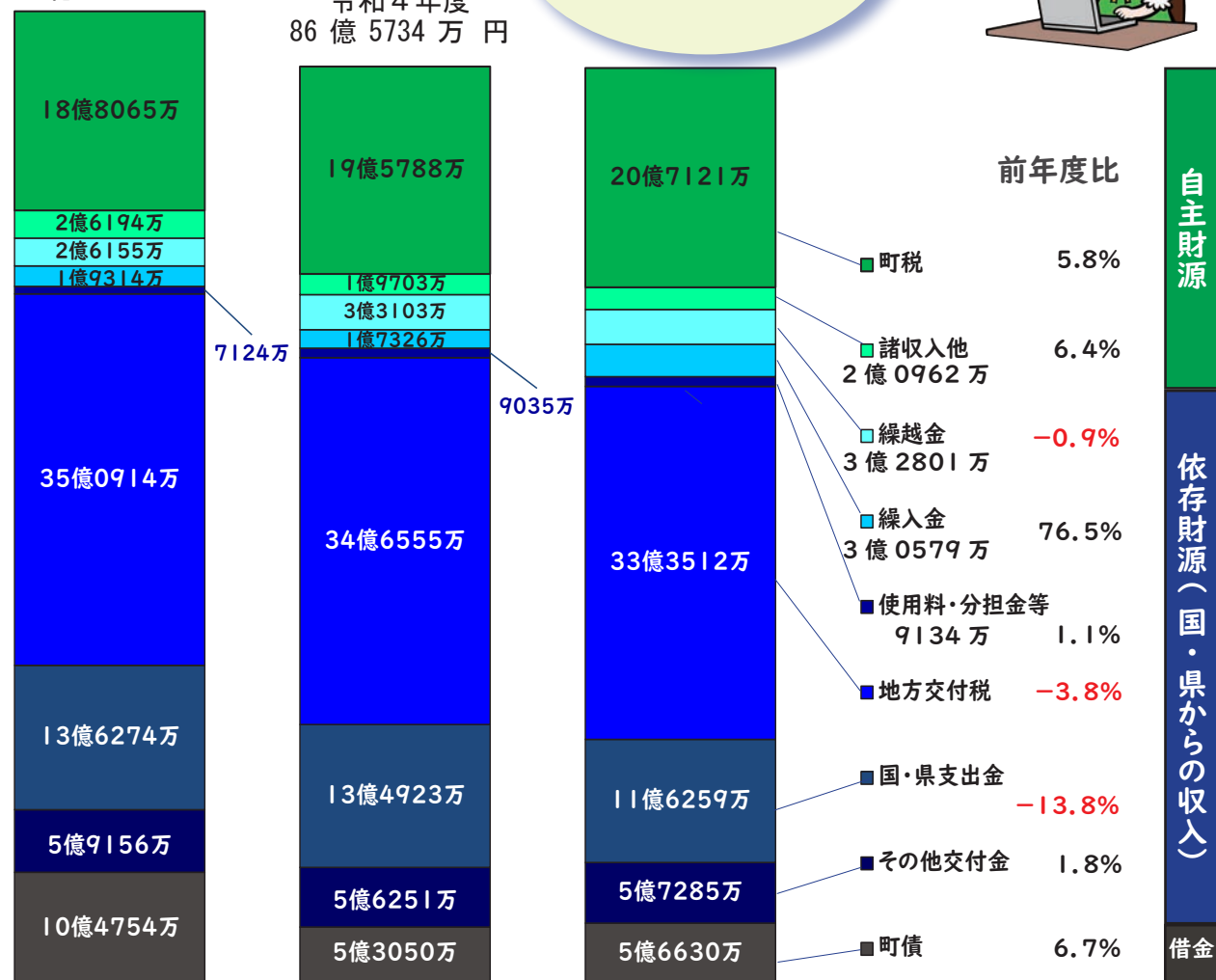
過去3年間の歳入総額の推移

令和5年度
86億4283万円



令和3年度
91億7960万円

令和4年度
86億5734万円



歳出

前年度と比較して0.8%の減、額にして6395万円の減額となりました。

民生費の占める割合が22.9%と最も多く、前年度比7.7%の増。低所得世帯支援給付金給付事業や障害福祉サービスの増加による障害福祉費の増額が主な要因です。

総務費は、情報通信事業や発電事業が地域開発事業特別会計から一般会計へ移行した他、コンベンションホールの大規模改修工事などの支出があり、前年度比2.7%の増となりました。

教育費は、自立分散型エネルギー設備等導入推進事業が令和4年度で終了となったため、前年度比17.8%の減となりました。

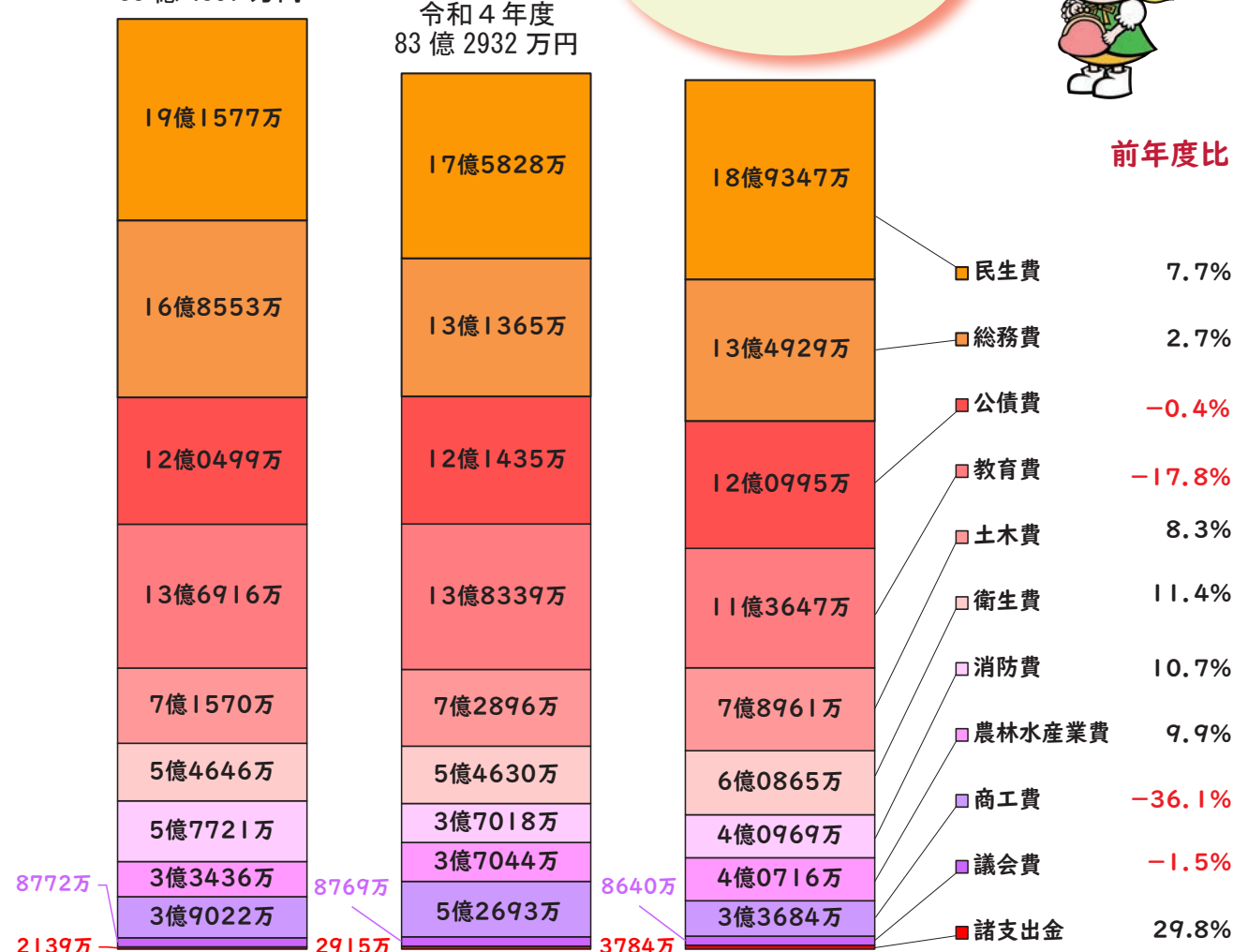
過去3年間の歳出総額の推移

令和5年度
82億6537万円



令和3年度
88億4857万円

令和4年度
83億2932万円



予算決算特別委員会：質疑

9月9～10日、町長・副町長・教育長ほか、各課長が出席し、予算決算特別委員会が議場で開催され、里見武男委員長の進行により令和5年度一般会計決算の質疑を中心に審査が行われました。

決算・全般

井上日出来委員 中澤町政で実質公債費比率は健全化に向かっているが、緊縮財政が過ぎると地元の経済が低迷することが懸念されるが。

町長 財政的には厳しい状況は継続している。その中でいかに町を活性化して、将来のためにさまざまな事業が発揮できるかどうかという観点から、効果的な事業を選んで執行している。

歳出・総務費

高橋徳樹委員 旧小学校跡地の今後の町の利活用は。

総務課長 旧岩一小学校の跡地は、昨年度遊休資産の活用のプロポーザルを実施。ほかの遊休資産も、民間事業者の意見を聞くサウンディングの実施や、プロポーザルの実施など、有効活用を進めたい。



旧岩島第一小学校跡地

高橋弘委員 運転免許証自主返納支援事業で、商品券

とバスカード交付の1人あたりの金額は。

総務課長 商品券1万円分、バスカード6000円分の2点セットで交付している。

高橋弘委員 バスカードを利用しない人もいるので、他人に譲渡したり、商品券に変更できたり、臨機応変に対応できないか。

総務課長 自動車の運転の代わりに公共交通機関が利用できるバスカードになっているので難しい。

高橋徳樹委員 官民連携プロジェクトが定住促進事業として違和感があるが、今後の予定は。

企画課長 株式会社ザスパとの包括連携協定に基づく事業は令和6年度は関係人口創出事業で取り組んでいる。



ザスパ選手によるサッカー教室

井上日出来委員 行政区での役員の成り手不足が深刻化している。集落支援員の制度や地域おこし企業人などの有効活用の検討は。

総務課長 外部人材の活用も有効と考えるので、今後検討していきたい。

小林光一委員 職員の資質向上のために町外の役場や議会への視察や傍聴も有効と思うが。

総務課長 職員の資質向上のための職員研修や安全対策のチェーンソー・刈払い機の講習などを行っている。通常業務の中で時間を割くのは厳しいが、できることをやっていきたい。

高橋弘委員 健康増進センターの使用料と使用人数は。



健康増進センターのマシン

社会教育課長 1回300円、町内に在住か在勤している方は6か月で1万円。町外の方は6か月1万8000円の使用料で利用できる。使用人数は、年間1万521人で、年間308日開館している。

増子京子委員 トレーニングマシンのメンテナンス費用と、メンテナンス周期は。

社会教育課長 保守点検委託料24万7500円で2回、保守点検を行っている。

高橋徳樹委員 公用車が昨年度から2台増えている理由は。

総務課長 地域おこし協力

隊員の増員による車両の増と、昨年度消防車を購入し、予備車両として登録しているので、増になっている。消防車両は車検が来た時点で、官公庁オークションなどで販売し処分していきたい。下取りに出すよりは、金銭的にも高値がつくので現在ストックをしている。

佐藤聡一議長 お試し移住事業の実績と成果は。

企画課長 利用者は20名で、移住に結びついたという事例はない。お試し移住用住居の数を増やすなど検討していきたい。

民生費・衛生費

小林光一委員 保護司の委員等の報償費に端数があるのは。

保健福祉課長 任期満了となり、年度途中から新しい保護司に代わり幾日か重なった日割り計算が発生している。

高橋弘委員 带状疱疹の予防接種の自己負担金は病院ごとに違うが、その差を周知すべきでは。

保健福祉課長 健診等の機会を捉え、保健現場の意見等も聴取する中で、必要があれば周知していく。

竹淵博行委員 原町赤十字病院に毎年多額の金額を補助している。議会に対しても病院の経営状況の説明をしてほしいが。

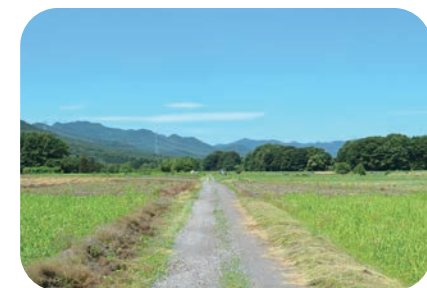
保健福祉課長 日赤にはその意思を伝えており、今後できれば議会の議員全員協議会などで、出席してほしい旨の交渉は進めている。

高橋徳樹委員 住宅用再生可能エネルギーシステムの補助金の内容は。

町民課長 住宅に太陽光発電や蓄電池など再生可能エネルギーシステムの設置をした場合に、補助金の交付を行っている。最近では蓄電池システムの補助金の申請が多くなっている。

農林水産業費

高橋弘委員 群馬県中山間地域農業農村整備事業、坂上地区上の原の基盤整備の進捗状況は。



坂上地区上の原

農林課長 13名が相続登記が終わっておらず、11月の県の判断が難しい状況。特に1名外国におり、対応が難しい。

井上日出来委員 農業次世代人材投資事業の展望は。

農林課長 昨年、営農者の方や農業委員が委員になっていただき、農業担い手受入協議会を編成し、新規就農者にすぐ対応できるよう努力していきたい。

高橋弘委員 大型破碎機と小型破碎機の利用状況は。獣害対策に有効な環境美化のために、稼働率を高める努力をしてもらいたいが。

農林課長 大型破碎機・小型破碎機ともに利用率は高く、ほぼ予定は埋まっている状況で、修繕のために2～3週間まとめてメンテナンスの期間を設けている。

竹淵博行委員 森林環境譲与税事業の使い道は。

農林課長 森林環境譲与税の森林整備に係る民有林意向調査は、令和2年度から始め、令和16年度には町内の土地の所有者の調査が終わる予定。年々山の境界が分からなくなっている問題があり、今分かっている人に少しでも事業区域の明確化作業を進めたい。木材流通促進事業は町内で伐採した素材の運搬経費と町内で生産されたチップの運搬経費に補助金が出ている。町内業者を育成する目的で、1tあたり230円の運賃が出ている。

佐藤聡一議長 森林の境界の不明の問題は、坂上には国土調査もしていない地区もあるが、林班図などを使い対応できるのか。

農林課長 個人の山の境界をはっきりさせるのではなく、間伐やつる切りなどの作業領域を、所有者に承知してもらう調査をしている。

井上日出来委員 杉並区で実施されている吾妻の朝市が実績を上げている。より全庁的な対応や町民を巻き込んだ取り組みをしてはどうか。



杉並区役所前の「吾妻の朝市」

町長 杉並区役所前での農産物の販売に担当課も力を入れている。今後も友好交流や農業支援の充実をさせていきたい。

商工費・土木費

竹淵博行委員 昨年始めた**レンタサイクル**事業は利用者が少ないが、どのような形で運用したのか。



アガッタンレンタサイクル

まちづくり推進課長 東吾妻町と長野原町が共同で行う事業で、現在長野原町の道の駅とNOA、東吾妻町のアガッタンの受付に3か所ある。利用者が伸びていないが、モデルコースを作成し、今後道の駅とも連携をする中で利用者の増加につなげていきたい。

竹淵博行委員 実際の道路事情を確認し、安全に利用できるよう配慮願いたい。**アガッタンの稼働率は。**

まちづくり推進課長 令和5年度は、休日では80%から90%を超える稼働率になっている。

竹淵博行委員 収益を増やすには平日の稼働率を上げるか、**道の駅との連携**が必要と思われるが。

まちづくり推進課長 アガッタンを利用されたお客が、町内で買い物をすることが非常に重要なので、今後道の駅とも連携をして、協議しながら進めていきたい。

井上日出来委員 **温川キャンプ場とあづま森林公園キャンプ場**は毎年赤字が出ているが、今後の対応は。

まちづくり推進課長 両キャンプ場に専用のホームページを開設し、誘客を図っている。あづま森林公園キャンプ場は、今年度バンガロー8棟のうちの6棟を取り壊しフリーサイトとすることで経費削減を図る予定。温川キャンプ場は比較的人気がある施設なので、老朽化による修繕等を進めていきたい。



温川キャンプ場

高橋徳樹委員 **空家除却費補助金**は重要な対策だが、特定空家に対しての自治体対応など、事業の改善の予定は。

建設課長 移住定住対策を踏まえ、関係課と連携をとって検討したい。

消防費・教育費

高橋弘委員 **消防自動車購入**は毎年更新計画があるが、年々高額になっているので、過剰装備になっていないか疑問が残る。購入する場合の判断基準は。

総務課長 標準的なものを考えているが、昨年度購入した第1分団第一部の消防車には、標準装備の他に、ナイトスキャンという夜間作業に特化したライトやスタッドレスタイヤを装備した。団員の消防活動に支障をきたさないよう地元分団の意見も聴きながら、必要な装備を選定している。

重野能之委員 **幼年消防クラブ活動事業補助金**の内容は。

総務課長 町立のこども園で春と秋の全国火災予防運動期間中に、火災予防の強化の一環として防火パトロールをお願いしている。防災教育のための紙芝居や絵本の購入費に充てられている。子どもたちが法被を着て拍子木を打ちながら歩いている姿を見て、火災予防の意識が高まると期待し、継続して行っている。

重野能之委員 **防災用の備蓄品購入費**の中身は。



イベントで紹介された防災備蓄品

総務課長 3年ほど前から計画的に配備を続けている。昨年度は岩島公民館に配備するものとして、野菜ジュース、アルファ米、液体のミルク、ベビーフード、ポータブルトイレや生理用品を購入した。

佐藤聡一議長 各公民館の備蓄品購入に毛布や寝具は入っていないが、数は足りているのか。段ボールの簡易ベッドや仕切の配置は。

総務課長 毛布等は本庁舎や東支所に配備をしている。スペースの問題もあるので役場本庁舎の防災倉庫等を活用して、必要に応じて届ける方法で考えている。今年度は簡易ベッド等も買い足しをする予定。

佐藤聡一議長 **道路寸断時の対応**は。

総務課長 ドローン協会と協定を締結した。ドローンが40kgぐらいまでは物資を運ぶことができるので、活用できると考える。

重野能之委員 地域に根差した資料館の適正な管理と有効活用が重要だが、**資料館施設管理委託料**の中身は。



加部安左衛門の屋敷跡

社会教育課長 大戸と岡崎にある資料館の鍵の管理と清掃をお願いしている委託料となる。

小林光一委員 こども園における**NHK放送受信料**のうち、いわしまこども園だけ支払いがないが。

学校教育課長 職員室にテレビがなく、遊戯室にあるが免除となっている。

重野能之委員 **岩櫃城跡保存活用計画策定委員会**の詳

細は。

社会教育課長 岩櫃城跡の保存活用の計画を策定するために専門家を含めた委員会を開催している。保存活用計画の策定を令和7年度に行う予定で作業を進めている。

高橋徳樹委員 **外国語教育コーディネーター**事業の中身は。

学校教育課長 こども園で毎週1回読み聞かせや英語でのコミュニケーションを図る機会を設けた。さらに英語を活用したパーティ形式のイベントを年2回開催した。



こども園での交流の様子

高橋徳樹委員 社会教育の一環として、**外国語教育コーディネーター**と住民との交流は計画しているか。

社会教育課長 今年度、外国語教育コーディネーターを講師に、公民館で英語教室を開催する予定で準備を進めている。

増子京子委員 **スクールカウンセラー**の来校頻度は。学校の先生がカウンセリングを受ける制度は。

教育長 スクールカウンセラーは県の事業として現在も配置している。中学校を中心に週1、2回の訪問になる。教員に対しては、健康や精神的な問題を抱えている教員も多いので、関係施設での相談を受けられるような体制は組まれている。

小林光一委員 こども園事務局分の**施設管理委託料**の他に、あづまこども園だけ施設管理委託料が計上されているのはなぜか。

学校教育課長 事務局分の施設管理委託料は、防犯のセコムなど5園共通の施設管理に必要な経費を一括して支出している。あづまこども園分は、単体の施設に起因するもので、プールの解体作業の委託料となる。

歳入・全般

渡一美委員 **基金の積立**はどのように運用しているのか。

会計課長 基金の積立先は、基金の目的等に応じて、定期預金や普通預金を利用している。財政調整基金は、一部を債券運用で、国債や群馬県債を購入して運用している。

渡一美委員 積立金が前年度比43%増だが、今後5年10年考えた時に、**今投資的な経費を増やすべきでは。**

副町長 投資的経費に対して、選択と集中をしっかりとっていくためには、収入の部分を見極めなければならないと考える。

高橋徳樹委員 **自主財源と依存財源**の考え方は。

企画課長 自主財源は地方税と分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入など。依存財源は主に国庫補助、県補助等。その割合は特に決まりはないが、自主財源を上げていくためには、企業誘致による法人税の増額、設備投資による固定資産税の増額、使用料や手数料の見直し、ふるさと納税に力を入れるなどが考えられる。

佐藤聡一議長 ふるさと納税が少ないと感じるが、**企業版ふるさと納税の中身**は。

企画課長 ふるさと納税は、前年度から若干伸びている状況で、体験型が人気なのでイベントなどに力を入れていきたい。企業版ふるさと納税の関係は6件で、電子入札システムに登録されている企業に案内をしている。

歳出・全般

小林光一委員 さまざまな補助金やイベント事業の実施があるが、知らない人が非常に多いものもある。もっとPRに努めるべきでは。
町長 広報に掲載をしたりチラシを配布をしたり発信をしているが、今後とも発信力を向上し参加を促していきたい。



にぎわいを見せたふるさと花火

竹淵博行委員 公共施設削減とCO2削減の2040年の目標に対し、取り組み状況は。
総務課長 今後20年30年先を見据えた中では、公共施設の整理や統廃合を進めていく必要がある。使われていない施設や利用頻度が低い施設などについては廃止、統廃合を検討し、優先順位を明確にした中で整理を進め

て、将来の財政負担軽減につながるようにしていかなければならない。住民サービスの質の維持も加味した中で、精査しながら進めていきたい。

町民課長 地球温暖化対策実行計画の取り組みで温室効果ガス等の抑制のための実行計画の策定の基に公表が義務づけられている。この中の事務事業編で削減目標達成に向けて、ワーキンググループを開催し検討している。

渡一美委員 人件費の割合が高い。むやみやたらに減らすのではなく、過度な人事異動で業務の効率が下がることもある。職員がよい環境でストレスがなく働いてもらいたいが。

副町長 職員の異動はトレーニングの意味もあり、若い人は3年から5年で動いている。職員トレーニングの部分と、町民に対するサービスが低下しないように、しっかりとバランスのとれた人事をしていきたい。

井上日出来委員 投資的予算はこれまでハードが中心だったが、今後は町内のあらゆる分野の人材育成に予算をかけてほしい。

町長 今後は人材育成も含め、将来のためにしっかりと投資的予算を組んでいきたい。

予算決算特別委員会では活発な質疑が行われ、令和5年度一般会計歳入歳出決算は、全会一致で認定すべきものと決しました。

特別会計・事業会計決算

国民健康保険特別会計

【事業勘定】

実質収支額は168万円で、国民健康保険基金への繰入は100万円で、決算年度末現在高は3479万円減の5445万円でした。

被保険者数も減少傾向が続いている中で、基金残高も減少している状況です。



【施設勘定】

実質収支額は1261万円でした。受診者数は、前年度比443人増の延べ4104人であり、診療収入も増加しています。

後期高齢者医療特別会計

実質収支額は20万円で、保険料の収納率は99.7%でした。

介護保険特別会計

実質収支額1億41万円でした。介護保険介護給付費準備基金は前年度比5300万円増の2億2029万円です。保険料収納率は99.2%でした。



地域開発事業特別会計

実質収支額は13万円となりました。

発電事業と情報通信施設事業の一般会計移行により、事業規模は大幅な縮小となりました。

下水道事業特別会計

差引歳入不足額が1102万円となりましたが、下水道事業について地方公営企業法が適用されたことに伴い、令和6年4月1日で事業会計へ引き継がれました。

簡易水道特別会計

歳入歳出差引額141万円は簡易水道事業について地方公営企業法が適用されたことに伴い、事業会計へ引き継がれました。

上水道事業会計

給水戸数4241戸、対前年度比13戸の増、配水量総量は、124万m³で、対前年度比約2.4万m³の減でした。

未処分利益剰余金は3億4641万円でした。減債積立金1772万円を差し引き、処理後残高は3億2869万円となりました。

長年の懸案事項だった料金改定に着手し経営改善を図りました。



実質公債費比率…3年ぶりに上昇 将来負担比率……3年連続大幅に改善

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実質公債費比率	11.3 (25.0)	11.2 (25.0)	11.7 (25.0)
将来負担比率	27.2 (350.0)	19.7 (350.0)	13.7 (350.0)

それぞれ早期健全化基準(かっこ内の数値)を下回っており、財政は健全な状態と言えます。

しかし、実質公債費比率は3年ぶりに上昇に転じました。将来負担比率は3年連続で改善されています。

実質公債費比率…借入金(地方債)の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標

将来負担比率…地方公共団体の一般会計等の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標

資金不足比率

下水道事業特別会計において、7.6%の資金不足比率が生じていますが、特別会計から企業会計へ移行する関係で、令和6年3月31日時点で一時的に資金不足が発生しました。経営健全化基準の20.0%は下回っています。

令和5年度会計別決算

会計名	歳入総額	歳出総額
一般会計	86億4283万円	82億6537万円
国民健康保険特別会計(事業)	14億9853万円	14億9684万円
国民健康保険特別会計(施設)	7365万円	6104万円
後期高齢者医療特別会計	2億2965万円	2億2944万円
介護保険特別会計	18億7642万円	17億7600万円
地域開発事業特別会計	3316万円	3302万円
下水道事業特別会計	4億8681万円	4億9783万円
簡易水道特別会計	1億8760万円	1億8618万円

令和5年度水道事業決算

区分	歳入総額	歳出総額
収益的	2億1359万円	1億8104万円
資本的	4813万円	1億9244万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額1億4430万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額などで補てんしました。

監査委員 からの報告

7月11日～8月8日まで
決算審査を実施しました。

令和5年度決算審査の結果、予算の執行・会計経理事務などは適切に処理されている。しかし、次に挙げる事項は、検討の上早急に善処されるよう要望する。

(1) 電気使用料抑制

昨年度学校施設で改善が見られた。SDGsに取り組んだ姿勢を評価したい。本庁舎の最大需要電力は冬場の対策で電気料金の削減が可能である。絞った対策で効果を上げてほしい。

(2) 業務の外部委託

町行政の業務は多様化し、さまざまな業務委託が行われている。効果を生んでいるものがある一方、事業の目的・効果に疑問が感じられるものもある。委託事業全般において検証し今後高い成果を得ていくことを期待する。

(3) 発信力の向上

効果的な事業であるにもかかわらず、周知不足により、利用が一部にとどまっている事例が少なくない。より一層の発信力向上（PR）に努め、事業効果を最

大限に高められるよう尽力してほしい。

(4) 移住・定住促進

移住・定住促進は今後の町の将来を左右する事業である。町定住の動機づけとなるシナリオづくりや、地域内外でのパートナーシップ強化など、戦略的かつ物語性のある移住・定住促進事業となるよう抜本的な事業再編を要望する。

(5) 町有地の利活用

役場旧庁舎跡地・東総合運動場東側町有地・ふれあいの家等、長年にわたり検討が行われてきたにもかかわらず、利活用が進んでいない町有地は、それぞれ難しい問題を抱えていることは理解しつつも、できることから速やかに実行に移し、町民に見える形での利活用を望む。



社会実験のひとつとして旧役場跡地で開催されたマルシェ

まとめに、少子・高齢化のスピードは極めて早く、人口減少が進行した場合に想定される住民生活への具体的な影響は、生活関連サー

ビスの縮小、産業や雇用・医療福祉対策への影響、行財政サービス水準の低下、地域コミュニティの機能低下等が考えられる。

近年では、当町でも地域の担い手不足による行政区や地区での役員のなり手不足が深刻化しており、行政の配布物や回覧に支障をきたし、行政区を抜きたいという動きまでみられるようになった。コミュニティの共助機能低下で、地域生活に影響が出てきている。

このような状況下で、慣例に基づいた対応や旧態依然の取り組みを行っていたのでは、変化する行政課題に対応することが難しくなっている。近年ではAIの活用やDX推進により、効率的かつ低コストで課題を解決するなど、行政サービスの向上や効率化、住民の利便性を高めるための取り組みが期待されている。最先端の技術にも目を向けつつ、これらの運用に当たっては高齢者への配慮や住民の協力も欠かすことができない。

人口減少がもたらす問題には地域全体として立ち向かっていく必要があり、やるべきことを見極め、住民を巻き込んでの大胆な課題への取り組みを期待する。

東吾妻町監査委員
剣持伊佐男
齋藤 貴史

条例改正 国民健康保険税の改正 令和7年4月から

東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例が可決されました。令和7年4月から国民健康保険税の税率が変更になります。

令和6年8月6日国民健康保険運営協議会より「当町の国民健康保険事業の運営において、財政状況が厳しく将来にわたり国民健康保険を堅持していくことが難しくなると危惧される。今後も町民の健康や暮らしを守り引き続き安定した国民健康保険運営をするために、国民健康保険の税率を見直しを付すので、十分な配慮のうえ実施されたい」との答申を受け、保険税率を見直すとの説明がありました。

国民健康保険の財政状況が年々厳しくなっていく中で、持続可能な制度とするために必要な改正との判断となりました。

区 分		改正税率	現行税率
医 療 分	所 得 割	7.10%	6.20%
	均 等 割 額	30,000円	25,000円
	平 等 割 額	21,000円	18,200円
後 期 高 齢 者 支 援 金 分	所 得 割	3.00%	2.50%
	均 等 割 額	12,000円	9,800円
	平 等 割 額	8,000円	7,200円
介 護 納 付 金 分	所 得 割	2.45%	2.20%
	均 等 割 額	12,000円	11,000円
	平 等 割 額	6,000円	5,200円

東吾妻町監査委員条例等の一部を改正する条例 →地方自治法等の改正に伴う条づれにより引用する4条例を改正するもの

東吾妻町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 →健康保険法の改正により、健康保険証の電子化に伴い、所要の改正を行うもの

東吾妻町国民健康保険条例の一部を改正する条例 →行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の改正により健康保険の被保険者証が廃止となるため、所要の改正を行うもの

東吾妻町税条例の一部を改正する条例 →地方税法等の改正による、寄附金税額控除の対象に公益信託の信託事務に関連する寄附金を追加するなどの改正

東吾妻町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 →内閣府令の施行により、家庭的保育事業等における児童に対する職員の配置基準を改正するもの

東吾妻町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 →あづま児童クラブの定員を現状に合わせ「25人」に改め、さかうえ児童クラブの位置を移転整備に伴い「本宿412番地」とする改正

7件
全会一致で
可決





契約

全会一致で
可決

中央公民館（原町）

中央公民館耐震改修工事

契約金額 2億6763万円
契約方法 条件付一般競争入札
契約の相手方 南波建設株式会社
代表取締役 南波将彦（原町）
工事内容：中央公民館の耐震工事の他、玄関は既存のベンチスロープを撤去し、雨天の際乗降時に車椅子等の来館者がぬれないように下屋根を設置する。また、玄関の自動ドア化やバリアフリースイレの新設、事務室や大会議室のステージの改修工事を行うもの。

質疑

竹淵博行議員 基本的には耐震工事がメインと承知している。鉄骨工が1190kg、約1tと示されているが、この辺の表示に問題は。
社会教育課長 耐震工事に伴う鉄骨工は、図面に示したとおり約1tと認識している。今回の契約は、6割程度の金額が耐震工事となっている。
竹淵博行議員 耐震工事に当たっては数量が少ないのではと感じている。問題がなければいいが、確認をさせてもらった。

令和6年度補正予算

5件
全会一致で
可決

会計名	補正額	予算総額
一般会計	3610万円	91億1573万円
国民健康保険特別会計（事業）	78万円	15億6149万円
介護保険特別会計	9016万円	19億6308万円

一般会計補正予算（第3号）は、歳入歳出それぞれ3610万円を追加し、総額を91億1573万円としました。
8月の豪雨災害で被災した町道や農道、溪谷公園内遊歩道の補修工事費用等が主な要因です。
地域開発事業補正予算（第1号）は、令和5年度繰越金の確定13万6000円の追加と補助金34万5000円の減額により、一般会計繰入金から20万9000円を追加し、歳入予算を組み替えるものです。

下水道事業会計補正予算（第1号）は、当初要望していた補助金が減額となったことにより、起債を充当する財源組み替えによるもので、資本金収入4万5000円の追加です。（内訳：企業債 100万円、補助金－95万5000円）
また、企業債を100万円追加し、起債の限度額を7570万円とするものです。吾妻浄化センター施設機器類の更新工事費に充当します。

人事案件・選挙

全会一致で
可決

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の任期満了に伴う次期候補者に、山本政行さん（大戸）を適任と認めました。

烏帽子山植林組合議会議員の補欠選挙

議員の辞職に伴う烏帽子山植林組合議会議員補欠選挙に齋藤貴史議員が指名推選により当選しました。

令和7年度に繰り越すことが決まった事業→→→

事業名	金額
中央公民館耐震改修事業	2億1115万円

定例会・臨時会の会議録は、東吾妻町議会のホームページでもご覧いただけます。一般質問等の質疑応答は編集してあります。
本会議中の正確なやり取りについては、東吾妻町議会ホームページの会議録（12月中に掲載予定）をご覧ください。



皆さんの声を町政に！ 水仙ちゃんが陳情の仕方をご紹介します

議会は、町政に対する意見や要望を陳情や請願として受け付けています。受付締め切りは、年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会前の議会運営委員会前日です。議会事務局に持参または郵送で提出してください。



令和6年11月1日
東吾妻町議会 ○○議長 様
水仙ちゃんとお泊まりキャンペーン
企画実施の陳情書
377-0801
東吾妻町大字原町1046
水仙ちゃん
68-2111 **水仙**
（趣旨）水仙ちゃんとお泊まりキャンペーンの企画を要望します。
（理由）東吾妻町のPRのためにがんばっている水仙ちゃんと一緒に泊まりたいちびっ子の夢を叶えるため、町の宿泊施設に水仙ちゃんと泊まれるキャンペーンを企画し、町のPRを活性化させたい。
*この陳情書は参考例です。

陳情書の書き方

- ①提出年月日
- ②東吾妻町議会議長宛
- ③陳情書の表題
- ④陳情者の郵便番号、住所、氏名（署名または記名押印）電話番号
- ⑤陳情の趣旨
- ⑥陳情の理由

*東吾妻町議会議員の紹介がある場合は、陳情ではなく請願になります。紹介議員の署名または記名押印を追加し、「陳情」を「請願」にしてください。
*定例会終了後、審議結果（採択、不採択など）を陳情者に通知します。

故 樹下啓示 前議会運営委員長を 偲ぶ追悼の言葉



9月定例会初日、去る8月24日ご逝去された故樹下啓示前議会運営委員長を悼み、1分間の黙とうの後、里見武男副議長から追悼の言葉が送られました。



故樹下啓示議員

樹下啓示議員の在りし日の面影をしのび、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

ここに定例会が開催されるに当たり、今一人12番議席に在りし日の容姿と形骸に接することも得ず、供花のみが飾られ、議員一同心から惜別の悲しみを抱くものであります。

この度の突然の訃報は、ご家族のみならず、私も議員一同にとっても、どれだけ大きな悲しみを誘うものであるか計り知れません。

私と啓示さんは40年来の友人でした。7月末に電話をしたところ、入院し医師から体の状況がだいぶ悪いと聞かされたと話されました。動揺しましたが、じっくり精密検査を受けて、治療に専念するようお話をしました。治療の甲斐なく8月24日に永眠の連絡があり、議員一同大きな悲しみに包まれました。

顧みますと、持ち前の行動力と温厚な性格で、幅広い町民の支持を受け、平成23年5月東吾妻町議会議員選挙で初当選し、現在まで13年3か月という歳月を東吾妻町議会議員として身を捧げ、将来の東吾妻町の姿を見据えながらも、その志半ばでご逝去されたことは誠に無念であったと、心中深く察するものです。

また平成3年6月23日から吾妻森林組合の理事に就任し、今年の6月20日より代表理事組合長に就任しました。吾妻郡の林業の発展に寄与していこうと語っていた矢先だっただけに、なおさら無念でなりません。

啓示さんの遺志を受け継ぎ、町政発展のため、さらにまい進することこそが、われわれ議員の務めであり、御霊を慰める唯一の道であると思います、ここに謹んでお誓い申し上げます。惜別の情は尽きませんが、ここに生前の数々のご功績をたたえ、ご遺族の前途と東吾妻町の発展に永久の御加護を賜りますようお願い申し上げます、追悼の言葉と致します。

令和6年9月3日
東吾妻町議会副議長
里見 武男



追悼の言葉を送る里見副議長

議会運営委員会新体制

委員長 渡 一美
副委員長 高橋 徳樹
委員 齋藤 貴史
委員 井上日 出来
委員 高橋 弘
委員 重野 能之

樹下前委員長の遺志を受け継ぎ、親しみやすい開かれた議会となるよう努めていきます。



今回の 請 願

請願	採択	上之町区内の道路を拡幅して頂きたい請願書	上之町区長 富澤 久幸 紹介議員 齋藤 貴史	総務建設 常任委員会
----	----	----------------------	---------------------------	---------------



第3回臨時会

令和6年8月6日

2件
全会一致で
可決

工事請負契約の変更締結

目 的	4-10号橋（鳶ヶ沢橋）補修・耐震補強工事
契 約 金 額	変更前 6710万0000円 変更後 6373万4000円
契 約 方 法	条件付一般競争入札
契約の相手方	池原工業株式会社 代表取締役 池原 純（原町）



鳶ヶ沢橋（三島）

令和6年度補正予算

会 計 名	補 正 額	予算総額
一 般 会 計	800万円	90億7962万円

一般会計補正予算（第2号）は、歳入歳出それぞれ800万円を追加し、総額を90億7962万円としました。上信自動車道建設工事の進捗状況に伴い、新巻地内のあづま

ケーブルテレビの光ファイバーケーブル移転工事が必要になったため、情報通信事業工事請負費に800万円の追加をするものです。

「議会だより」の表紙の写真を募集します！

75号の表紙 「楽しかったね こども園で交流会」



9月18日、おおたこども園の年長児がいわしまこども園を訪れ、交流会が開催されました。少子化の中でも多くの交流を経験させようと、東吾妻町教育研究会の取り組みとして行われたものです。

2園の年長児は、運動会遊びや虫とりを一緒に楽しみました。



「議会だより」の表紙に掲載する町の「風景」や「行事」などの写真を募集しています。自然豊かな町の風景や子どもたちの笑顔など表紙を飾る写真を募集中！

次号は2月発行。冬らしい写真を募集します。詳しくは、東吾妻町議会ホームページをご覧ください。



一般質問



たか はし のり き
高橋 徳樹 議員

Question

長期視点で森林資源の活用を

Answer

森林環境譲与税で森林高齢化を防ぐ

問 当町の森林面積は総面積の79%を占め、豊富な森林資源を長期視点で生かすことが重要である。しかしながら木材価格下落による採算性悪化、所有者不明な森林の顕在化、林業就業者の高齢化や担い手不足等、他自治体同様に手入れ不足の森林が増えている。直近の概況、今後の森林整備の方向性および課題を伺う。

町長 令和4年度の民家人工林面積は7521haで標準伐期齢は杉は40年、ヒノキが45年の主伐指標である。森林整備は間伐の繰り返しではなく、特に標準伐期+10年の55年生を超える林分は一般的に再造林を行う

ことが望ましいが整備遅れによる森林の高齢化が進んでいる。令和2年度より森林環境譲与税を活用し整備を進めているが、隣地との境界が不明な林分の現地調査等作業の遅滞が課題である。

問 バイオマスエネルギーの概況、活用計画は。

町長 スマートフォレスト(株)が熱電併給設備を導入済で乾燥木材チップを生産供給している。今後、天狗の湯への熱電併給設備導入の可能性について検討中である。

問 今年度の森林環境譲与税の課税額および譲与税額の見込みは。

町長 町民6475名に課税

され課税額が647万5千円で、森林環境譲与税の交付予定額は4234万5千円である。

里山整備に木材チップ設置を

問 森林環境譲与税の有効活用では、中山間地域の現状を踏まえまずは荒れて手入れが行き届いていない集落、里山整備を復活する視点が肝である。今後、実効性が高いと思われる川下施策として5地区に木材チップ(壊れにくい大型性)を設置してはどうか。

町長 良い提案である。検討していきたい。

ふるさと納税の推進を

問 同制度は財政基盤強化、返礼品を通じて産業PR等活力を生み出すもので、推進すべきである。今後、新商品開発に対する補助金(インセンティブ的)創設をされてはどうか。

町長 補助金創設により見込める効果と財政負担などと比較検討し研究していきたい。



群馬原町駅北口広場で開催の農林業マルシェの様子



常任委員会の活動

議会では、各委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

総務建設常任委員会



請願1号の現地視察

定例会の委員会では、所管の地域開発事業、下水道事業、簡易水道、水道事業の決算認定について審査を行いました。

請願1号については、JR群馬原町駅から中央公民館を結ぶ町道で約100mの区間の道路を拡幅工事する要望であり、現地調査しました。この場所は「群馬原町駅南側地区まちづくり計画」の「コミュニティー交流整備ゾーン」になっています。主要道路であり、安全性を確保し利便性を高めるためにも拡幅工事は妥当であり採択となりました。

今回の委員会 注目3事業!!



運転免許自主返納対策

令和5年度の自主返納者は54名で、商品券とバスカードを交付。買い物弱者対策事業では、商工会が買い物代行事業を行い、登録利用者は商品代のみの負担となる。ライドシェアの活用が提案があった。

上下水道事業関係

令和6年4月1日から下水道事業と簡易水道事業が地方公営企業会計に移行し、独立会計事業となった。今後も安全でおいしい水の供給をしていく。今後は吾妻郡の広域化も視野に検討していく。

防災対策

災害に備えて防災備品や食料品等の保管を行っている。食料品は賞味期限があるため、東吾妻ふるさと花火の会場展示、試食や販売等を行い、防災意識を高めていく。

文教厚生常任委員会

定例会の委員会では、付託されました認定第2号令和5年度東吾妻町国民健康保険特別会計をはじめ、認定第3号・第4号の審査を中心に行いました。

付託議案については、慎重審査の結果認定すべきものと決しました。

教育関係では、下記の3点の事業の説明の他、中央公民館耐震改修工事の説明がありました。



東吾妻中学校の校舎と校庭

原町小学校体育館

床改修工事の工期は、当初の本年9月30日から令和7年1月末まで延長するとの説明があった。運動会の練習など学校との調整によるもの。

学校給食センター

学校給食センター在り方検討委員会の答申を受け、調理部門の外部委託に向けた動きが進んでいる。令和6年中に業者の選定、7年度中の稼働を目指すとのこと。

東吾妻中学校校庭

雨天時に水はけが悪いことなどが原因で、校庭の状態が悪化することを指摘。委員会として現地調査を要望し、所管課と調整し後日実施する運びとなった。

今回の委員会 注目3事業!!



特別委員会 其他の活動

初めてのワーキンググループ、研究の成果は ～予算決算特別委員会

当委員会に付託された「令和5年度東吾妻町一般会計歳入歳出決算認定」は全会一致で認定されました。

付託認定終了後、6月に4人1組の3つのワーキンググループが結成され、それぞれのグループの調査研究の発表が行われました。ワーキンググループで活動することは、初めての経験で今回の活動をどう今後につなげていくか勉強の機会として議員活動に役立てていきたいと思ひます。さらには調査研究をしていく中で次年度の予算に反映できる内容が見いだせればとの思ひがあります。

9月以降のワーキンググループはメンバー替えを行い、それぞれ新たな課題を設けて調査研究をしていきたいと思ひます。

グループA
渡一美
高橋徳樹
重野能之
佐藤聡一

森林環境譲与税の活用
方法と視察報告



森林環境譲与税の活用方法について研究し、東吾妻町が令和5年度に交付された3045万円を踏まえ、中之条町、川場村、上野村の事例を視察しました。

各自治体には多くの課題がありましたが、東吾妻町においては何かができるのか模索しました。

今後の林業の成長には、森林環境譲与税を活用した事業推進が不可欠です。しかし、単独での取り組みは困難であり、民間企業との連携が求められます。特に森林組合の活動を支援し、働き手を確保することが最重要課題です。

今後は地域の協力を得て、持続可能な林業の発展を目指す必要があると思ひます。

グループB
井上日出来
齋藤貴史
里見武男
竹淵博行



群馬原町駅南町づくりと
活性化について

当グループは駅南エリアのまちづくりと活性化について調査を行いました。旧役場庁舎跡地から中央公民館まで現地を歩き、現状では車の往来など勘案し安心して歩いて暮らせる環境でないことを認識し、以下の提言にまとめました。

- ①車道の拡幅や歩道スペースの確保など、住みやすい環境への改善計画が必要である。
- ②駅前と周辺の美化への積極的な行政対応が必要。
- ③中央公民館は耐震化工事後、1階フロアのレイアウトを変更し、子どもからお年寄りまで気軽に集える交流スペースが求められる。
- ④旧庁舎跡地のトライアル・サウンディング調査を実施するにあたり現地の電源や水道の確保など事前に利用者への配慮が必要であった。
- ⑤駅待合室やバス停のベンチなど、設置物の炎天下や荒天時の利便性の検証が必要である。

グループC
増子京子
高橋弘
小林光一
樹下啓示



町の農業政策について

Cグループは「町の農業政策について」学んでまいりました。東吾妻町が中山間地ということから生産性や物流の効率に不利な点が多いこと。特に後継者不足についての問題に目を向け考えました。解決は簡単ではありませんが補助金制度をひとつの手段として考えてみました。

昨年度から「東吾妻町青年農業者協議会活動」という町の施策が加わりました。農業中心とした町内50歳以下の団体で、現在11

名で構成されています。若者同志横のつながりができ触発し合えるメリットもあり、補助金の活用もできます。

また、長野原町には6次産業に対する支援補助金があり1次産業の間接的促進にもつながるのではないかと考えます。

新しい議会報告会に向けて検討中 ～議会運営委員会

新体制となり、まだ未熟な部分もございますが、皆さまからのご指導をいただきながら、議会運営に努めてまいります。中学生議会では、グループワークを通じて卒業研究の発表を行い、生徒との交流を深めることで、子どもたちに議会に興味を持ってもらえるように努めます。

また、議会報告会では、本会議や委員会の動画撮影、動画編集などの新たな試みを行っており、予告動画の配信も実施しています。今年も昨年同様にカフェタイムを設けました。メニューはキャベツのキーマカレーです。和気あいあいとした雰囲気の中でカフェタイムを楽しんでいただければと思ひます。

気軽に参加していただけると幸いです。皆さまのご参加をお待ちしております。

親しみやすい紙面づくりを ～議会広報特別委員会

第75号の議会だより発行に向け、第3回定例会中の委員会を含めて4回の編集会議を行いました。

今号では令和5年度の歳入歳出決算審査の監査委員の報告や質疑内容を主に令和6年度の補正予算、条例改正、一般質問、第3回臨時会等掲載しました。

議会だよりが縦書きから横書きに変わりましたが、文字のポイントや写真、イラストのバランス等を工夫しました。

また、故樹下啓示氏をしのぶ追悼の言葉も掲載しました。

11月22日に実施される議会広報クリニックの勉強会に参加し委員の能力アップにつなげ、今後もより見やすく、親しみやすい紙面づくりを心掛け取り組んでいきます。

現在進行形の課題を協議 〈議員全員協議会〉

定例会中の議員全員協議会で協議された内容は以下のとおりです。

- (1)吾妻郡一般廃棄物処理施設の現況について
- (2)学校給食センターの調理部門の外部委託について
- (3)8月上旬の豪雨災害について
 - ・群馬県気象警報・注意報への対応について
 - ・ハイキングコース、登山道の災害状況について
 - ・農道、林道、用水路、農地の災害状況について
 - ・町道の災害状況について
- (4)指定管理者による事業報告について
 - ・道の駅・桔梗館・いわびつ荘・福寿草
 - ・地域活動支援センター・いわびつ体験農園

第19回マニフェスト大賞 「エリア選抜」に選ばれました！

「第19回マニフェスト大賞」（主催：マニフェスト大賞実行委員会）において、東吾妻町議会の取り組みが「エリア選抜」に選ばれました。応募総数3012件のうち、「エリア選抜」に選ばれた議会や団体等は105（群馬県では唯一）です。応募概要は、議員定数減にも関わらず無投票だった町議会議員選挙。議員のなり手不足を考え、若い世代や女性に議会を身近に感じてもらうための取り組みとして、議会報告会へのカフェタイム追加や議員が学校に出向き3年生全員と交流した中学生議会、議会広報のリニューアルなどを挙げました。

マニフェスト大賞とは？

「マニフェスト大賞」は、地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを募集し、表彰するものです。これにより、地域で努力を重ねる方々に栄誉を与え、さらなる意欲向上を期するとともに、優れた取り組みが広く知られ互いに競いあうようにまちづくりを進める「善政競争」の輪を広げることが目的としています。（主催者ホームページより）
主催：マニフェスト大賞実行委員会
共催：早稲田大学マニフェスト研究所・毎日新聞社



「甘酒原花と緑の会」

会長 高橋 康典さん（本宿）



レンゲショウマの可憐な花

地元の町有地が荒れ果てているのを見て、何とか整備して活性化につなげようと活動を始めました。最初はヒマワリなどを植えていましたが毎年手入れが大変で、ツツジやシャクナゲに替えていき、遊歩道を整備しその周りに多くの山野草が植えられています。

今は「森の妖精」とも言われるレンゲショウマを植え、10年くらいかけて現在の形になりました。さらにボランティアの協力によりレンゲショウマの苗植えをし、2万本以上の規模にして、関東でも有数の群生地を造りたいと思います。今年モミジを70本植え、10年後には綺麗な紅葉も見られますのでご期待ください。

毎年シーズン中には3000人以上訪れています。5月には「遊花里自然園まつり」を開催。音楽ライブをはじめ、キッチンカーなども出店し盛り上がりしました。10月には皆で整備してシーズンオフとなりますが、その後も園内の散

策はできます。

整備され過ぎた観光地ではなく、森林浴しながら自然な雰囲気で見られるような、居心地の良い場所にしたいと思います。年々来場者が増えていて、整備やイベント開催など広がりを見せています。

町にも宣伝など、より一層の協力をお願いし、町民の皆さんもお気軽に散策していただきたいと思います。



甘酒原花と緑の会の皆さん

議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は12月4日開会予定

12月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 本会議	5 常委	6 常委	7
8	9 特委	10 全協 特委	11 休会	12 本会議	13 本会議	14
15	16	17	18	19	20	21

*予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

編集後記

今朝、庭に新聞を取りに出ましたら、フルーツの甘酸っぱい大好きな金木犀の香りがありました。異常気象にありながらも栽培に励む農家の方のお陰で食卓にぶどう、りんご、なし、新米等実りの秋を満喫できる季節となりました。

皆さまはどのような秋をお過ごしですか。

今定例会は予算決算執行をチェックするとともに、町民の税金が適正に使用されたかを審査をする大事な特別委員会があり、慎重審議が行われました。また議員同士のワーキンググループごとの調査研究や11月に開かれます議会報告会案内も紹介され盛りだくさんの内容となっております。皆様のご意見、ご感想お待ちしております。（高橋 徳樹）

議会広報特別委員会

委員長 里見 武男 副委員長 井上日出来
委員 齋藤 貴史 委員 増子 京子
委員 渡 一美 委員 高橋 徳樹
委員 重野 能之

